

# KEEITAN教員ファイル



健康福祉学科  
三好 禎之先生

名古屋経営短期大学の先生を紹介する「KEEITAN教員ファイル」。今回は健康福祉学科の三好 禎之先生を紹介します。

～三好 禎之先生の紹介～

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉専攻博士前期課程修了（社会福祉学修士）。愛知県立大学、名古屋市立大学、放送大学非常勤講師を経て現職。

Q 何を専門に教えていますか。

A 私は福祉の分野における「生活構造論」と「介護方法論」の二つを教えています。「生活構造論」とは家族構成や年収など様々な立場の人たちがどのような生活を送っていくのかを調べるもので福祉の行政政策と関わるものです。「介護方法論」とは介護行為を論理だてて説明するもので、介護の知識や技、予防方法の知識や技について関わるものです。介護方法論では特に予防に



先生の研究室前の掲示

力を入れており「ルディックウォーク」を取り入れてキャンパスのある尾張旭の健康増進活動にも関わっています。

Q 授業で大切にしていることはありますか。

A 健康福祉の現場には、地域貢献が求められつつあります。このような事情もあり、ルディックウォークの活動など、学生のうちから地域や企業の方たちと関わって貢献する事ができる環境づくりを大切にしています。



Q 学生にどんな学生生活をおくってほしいですか。

A 出来る限り地域の方たちと関わる体験をしてほしいと思います。ルディックウォークでは測定のサポート活動や対話会の開催など、本学には様々な地域の方たちと触れ合うことができる環境があります。地域の方たちと触れ合う中で、地域の問題課題の見つけ方や解決策を学び、健康政策を担える人材になってほしいと考えています。

私はコレを学んでいます！！

健康福祉学科 阪口 奈美さん

名古屋市立中央高等学校出身



母が介護士をしており、やがて介護士になりたいと感じていました。先生の授業で興味を持ったルディックウォークについて卒論も書き、この経験を活かしていきたいです。



生活構造論や介護方法論などについての研究実績が掲示してあります。

